

五 船頭只一人

原曲：彼岸帰航 ～ Riverside View  
今昔幻想郷 ～ Flower Land

陽気 木陰 逃げ水を捕まえて

涼め 休め 咎めは無し

恋焦がれ 不覚に失い発って

「向こうまで」いくら持たされた？

遠ざかる 紅く色付き無縁

問い掛ける 命溢れる緑

遠ざかる 風靡くように揺れる

夜を明かす ただ過ぎ去る時を待っていられない

境目を渡るまで少し話でも

勝手言つて沈む前に

鮮やかに見えるかな

恨みつらみさえ引き連れ今日も舟を漕ぐ

とうに壊れ 行き先は決まり切って

禊 みそぎ 試し 此処には無し

道理歪め いつまでも咲き誇って

ひとりぼっちのように見えたのに

遠ざかる 甘く成る実の所以

問いかける 潜み刈り取り日照り

遠ざかる 枯れ落ちるように暮れる

夜を明かす 肌濡らす雫を拭えば一筋

境目を渡るなら積もる話でも

咲いて散って終える前に

ささやかに萌ゆるのは

ふらり気の向くまま都合など知らぬ顔

此岸<sup>しがん</sup> 滲み出した血だまりと見紛う極彩色を写し取れば

数多にも故あり

彼岸 伸ばす指を透かすような無重力

触れるまでは幻の一部

掠めて喉元

切っ先 一寸切り裂き

佇むほんのひと時

それでも

境目を渡るまで少し話でも

勝手言つて沈む前に

鮮やかに見えるかな

同じように微笑み手を振る

境目を渡るなら積もる話でも

咲いて散つて終える前に

ささやかに萌ゆる河岸<sup>かし</sup>

人の涙さえ引き連れ今日も舟を漕ぐ